

研究実施のお知らせ

研究課題名：感情の訴えが多い神経難病患者に対するチームで統一した看護介入の有効性

研究期間：令和8年6月～令和9年1月

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された診療録の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2026年3月～8月に当院脳神経内科病棟に入院された患者

【研究の目的と意義】

2026年3～8月に当院脳神経内科病棟に入院された患者とのかかわりを振り返り、看護師のチームでの対応について考察し、その内容を報告いたします。

【研究の方法】

診療録を用い、後方視的にチームで統一した看護介入について考察します

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢、性別、診断名、既往歴、検査データ、医師記録、看護記録等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【個人情報の取扱い】【利益・不利益】

患者さんの個人情報と、匿名したカルテ情報を結びつける情報（連結情報）は、院内のみで使用するものとし、本研究の研究担当者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究計画書に記載された所定の時点で使用したデータは完全に抹消し、破棄します。学会等へ発表の際には個人が特定されないように十分配慮いたします。

また、過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の情報から考察を行います

【お問合せ先】

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。研究へのご協力は、患者さんの自由意思に基づくものです。研究への情報提供を希望されないことをお申込みいただいた場合、患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいたときにすでに研究結果が学会発表等で公表された場合には、完全に廃棄することができません。情報の利用を希望されない場合には下記連絡先にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、不利益を被ることは一切ございません。

【問合せ先】

仙台市立病院 8階西病棟
代表 022-308-7111(内線 3481)
研究責任者 看護師長 折原 京子
研究担当者 丹崎 功大